

二〇二一年九月二八日(大阪城・玉造カトリック教会参加者一五名)

宮跡の一投足にばった跳ぶ せいじ  
 秋思とも伏目がちなる右近像 〃  
 ガラシヤの遺址を訪へば秋の蝶 〃  
 シスターの深きおじぎや秋気澄む 〃  
 摩天楼ビルの窓拭く天高し 〃  
 磔像に移ろふ窓の秋日影 うつぎ  
 彩窓に透くる秋日や堂静か 〃  
 大聖堂人ゐて無音秋深む 〃  
 爽やかや和服召されしマリア像 〃  
 聖堂堅き木椅子に秋思かな きづな  
 ぶらんこのひとり揺れゐる秋風裡 〃  
 秋の雲映して句碑の大面 〃  
 城壁を攻めあがること蔦紅葉 百 合  
 秋日傘たたみて仰ぐ天守閣 〃  
 大砲と並び城下の秋を見る 〃  
 小鳥来る四ヶ国語の注意札 宏 虎  
 罽雲金の鯨泳ぎをり 〃  
 秋日濃し絵硝子の青際立ちて 明日香  
 やはらかな揮毫の句碑や秋うらら 〃

園うらら観光バスの各地より ひかり  
 爽やかやクルスを仰ぐ青畝句碑 〃  
 秋日さす彩窓に見る殉教史 ぼんこ  
 城壘の裾に炎の曼珠沙華 〃  
 彩窓の天使春日に舞ひにけり 有 香  
 たく像に届く春日の触るごと 〃  
 石蓋の越中井より秋の声 はく子  
 爽やかや丘の上に立つマリア像 〃  
 寂び優る残念石の秋日影 菜 々  
 秋の声残念石の後より かれん  
 ガラシヤと右近の像に天高し 満 天  
 秋うららマリアの像の辺はことに 〃  
 身に入むやガラシヤの碑は喧騒に 〃  
 秋晴れて添ふ雲もなし天守閣 〃  
 青畝碑に写る教会秋澄める 〃

五名)

二〇二一年九月二八日(大阪城・玉造カトリック教会参加者一

吟行句会みの選